

請 願 文 書 表 （令和7年2月28日定例会提出）

請願第14号

若草中学校区における学校規模適正化計画に関する請願書（行財政改革及び公共施設等検討特別委員会付託）

令和7年2月17日受理

請 願 者 ●●●●●●●●●●

川 崎 綸 子

紹介議員 宮 池 明

（要旨）

私たちの気持ちや考えを無視して勝手に学校規模適正化を進めないでください。

（理由）

私を感じる鼓阪小学校の魅力は、奈良市ができる前からある学校で昨年150周年を迎えた歴史のある学校であるところです。東大寺の敷地内にあり、6年生は特別に毎年、正倉院に招待していただいています。日本の中でも歴史の深い奈良の、その中心とも言える場所にある学校です。

私はもともと住んでいた東笹鉾町から今の家に引っ越すときに、鼓阪小学校から佐保小学校に転校する必要がありましたが、私が鼓阪小学校にいたかったので、お母さんにいろいろな手続をしてもらい、鼓阪小学校に通えるようになりました。私は、地域の事や鼓阪小学校の事をするのが大好きです。なぜかと言うと、自分がこのまちや学校の力になれるのがとてもうれしいからです。

鼓阪小学校にはよいところがたくさんあるので大好きですし、鼓阪小学校は私たちの誇りです。そんな学校をなくすのですか？よっぽどでなければなくそうと考える人はいないと思います。なくそうと考える人がいるとしたら、それはこの場所の価値をちゃんと知らない人だと思います。

しかし、私が2年生の頃、本当はその価値を知っているはずの奈良市長や教育委員会の人たち、市の人たちが、私たちの意見を聞かずに佐保小学校との統廃合を決めて、そのまま進めていこうとしていることを知り、とても悲しい気持ちになり、落ち込みました。大好きな学校がなくなるの？卒業式には鼓阪の校歌を歌って卒業したいのに、それがかなわなくなるのかな？心配で悔しい気持ちにもなりました。

今は、学校で統廃合のことを話すと、違う話をして遮られてしまい、ちゃんと話を聞いてもらえずに「話しても無駄な気持ち」になるようになりました。そんな気持ちのまま、私は来年5年生になります。

以前行ったアンケートについても、市議会の中で一部の議員さんが、みんなが一生懸命書いたアンケートを「大人が書かせたんじゃないか」と発言されたと聞き、とてもショックでした。少なくとも私は、誰かに「書きなさい」と言われて書いていません。自分の本当の気持ちを書きました。友達もそうです。

私たちが伝えた思いや考えを聞いて、公平な気持ちで統廃合の計画をつくり直してください。

そして、通学路についても、佐保小までの通学路を私は実際にお父さんと一緒に自転車で走ったことがあります。とても狭く危険な道だと思うし、それに距離も、佐保地区に住む私でも遠いと感じるくらいです。お母さんが歩いたときには、大人の足でも約1時間かかったそうです。再来年1年生になる弟がいますが、重いランドセルを背負ってこんな長い道を毎日歩けるとはとても思いません。低学年の子たちがかわいそうです。鼓阪小学校なら今までどおり、佐保小に行くより早く着きます。そのほうが安全ですね。子供の安全を第一に考えてください。事故に遭ってからじゃ遅いです。責任は取れるのでしょうか。そもそも、責任を取る取らないの問題ではないと思います。歩道で一番細い幅の場所は7センチメートルです。そんなところで、小学生と中学生たちが擦れ違えると思いますか？仲川市長や教育委員会の人たちも来て、見て、歩いてみてほしいと思います。きっと危ないと感じられると思います。子供たちにそんな道を通らせないで済むようにしてください。